

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	4806	領域略称名	意志動力学
研究領域名	意志動力学（ウィルダイナミクス）の創成と推進		
領域代表者名 （所属等）	桜井 武 筑波大学・医学医療系・教授		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、うつ、引きこもりなどの現代社会が直面する問題について、「やる気＝ウィルパワー」の観点から神経科学、精神医学、スポーツ、教育の分野を結びつけることによって包括的に理解を進め、新たな学術領域の確立を目指すものである。歴史的に幅広い分野において意志力という概念が扱われてきたものの、その定義は非常に曖昧であり、一方ではその重要性が改めて注目されている。難しいテーマであったにもかかわらず、意志力を支える神経生理学的な機序やモチベーション障害の病態基盤などに関して貴重なデータを集め、論文報告等において顕著な成果を上げたことは高く評価できる。また、学校教育現場に運動学を取り入れることにより、実社会の中でのやる気の向上効果を証明したことについても高く評価する。個別の学術分野においては顕著な成果を上げている一方で、新たな学術領域の確立という点においては、より一層の分野間の連携研究や深い議論が必要である。

今後、意志動力学の研究領域を更に発展させるために、神経科学、精神医学、教育、スポーツ、という離れた分野が更に強く融合され、それにより、全体としての研究成果が実際に社会問題解決のために応用されることを期待する。また、「意志力」の定義についても、より深く議論され、新たな学理が構築されていくことを期待する。